

常田獅子・房山獅子

常田獅子

常田獅子は房山獅子と共に、上田地方に伝わる代表的芸能に数えられるものです。天正十一年（一五八三）真田昌幸公が上田城を築いたときに召され、その地固めの祝に演舞したと伝えられています。また、仙石忠政公の上田城修築の折にも、先例にならぬこの獅子踊りが奉納されました。

房山獅子

城下町形成以前から山口沖の「天王屋敷」という所に付属する獅子踊りがありました。真田昌幸公の上田築城の際に常田獅子と共に召され、地固めの祝に獅子を演舞したことから、以来、江戸時代を通して当地の祇園祭の行事に城祭として、常田獅子と共に踊りつづけてきたという伝承を持っています。

グランドオープン式典では、上田市庁舎の地固めの祝いにふさわしく。格式のある、また、豪華で勇壮な演舞を披露いただきます。



キットパスアート



製作 丸子修学館 梅花幼稚園 丸子修学館 梅花幼稚園 上田千曲高校 聖ミカエル保育園 上田千曲高校 聖ミカエル保育園 上田高校 聖ミカエル保育園 上田高校 南部保育園 上田西高校 南部保育園 上田西高校 南部保育園

キットパスとは、障がいを持つ方と共に歩む企業が開発した、窓ガラスに描いて消せる人にも環境にもやさしい筆記具です。これを使用して、市庁舎連結棟2階の窓ガラスに、上田高校、上田西高校、上田千曲高校、丸子修学館高校の美術部の皆さんと、梅花幼稚園、聖ミカエル保育園、南部保育園の園児の皆さんの共作によるアート作品が描かれました。窓上部は「自然」をテーマにして高校生が担当し、窓の下部は「自分の顔と好きなもの」をテーマに幼稚園、保育園の園児が担当しました。

●市庁舎概要

所在地／長野県上田市大手一丁目11番16号
敷地面積／8,477.55m²
建築面積／2,593.43m²（本庁舎）、509m²（南庁舎）
延床面積／13,031.99m²（本庁舎）、2,668.27m²（南庁舎）
用途／事務所（庁舎）
建物規模／地下1階・地上6階（本庁舎・南庁舎）、地下1階・地上2階（連結棟）
建物構造／鉄骨造・免震構造（本庁舎）、鉄筋コンクリート造（南庁舎）
最高高さ／24.72m
C M／三菱地所設計
設計監理／石本・第一設計共同企業体
施工／清水・千曲・栗木特定建設工事共同企業体（本庁舎）
株式会社竹工、上田信州電機株式会社、日本ガス水道株式会社（南庁舎）
丸登電業株式会社（電話設備）
北野・宮下特定建設工事共同企業体（既存高層棟解体・地下改修）
株式会社宮下組（外構）
有限会社藤本工クステリア（植栽）
特定非営利活動法人気塾（エコ平板製作）
丸子小諸電気株式会社（急速充電設備）

●市庁舎建設の経過

平成28年 9月／上田市庁舎改修・改築検討委員会設置
平成29年 4月／基本構想策定
平成29年10月／基本計画策定
平成29年10月／上田市庁舎改修・改築設計者選定審査委員会設置
平成30年 1月／基本設計着手
平成30年 6月／上田市庁舎改築コンストラクションマネジメント（CM）業務開始
平成30年 8月／上田市新本庁舎建設工事総合評価審査委員会設置
平成30年 9月／基本設計完成
平成30年10月／実施設計開始
平成31年 1月／上田市新本庁舎建設工事請負契約締結
既存低層棟と西庁舎の解体開始
令和元年 5月／安全祈願祭・起工式
令和元年 9月／新本庁舎建設工事着手
令和2年 7月／上棟式
令和3年 2月／新本庁舎完成
令和3年 3月／新本庁舎引渡
令和3年 4月／竣工式
令和3年 5月／新本庁舎開庁
令和4年 5月／南庁舎供用開始
令和5年 3月／市役所駐車場供用開始





上田市長
土屋 陽一

「居は氣を移す」

住む場所や環境は人の心に大きな感化を与えるという、孟子の言葉です。

新庁舎が開庁して2年が経ちます。上田市は「新たな市政の場」を得て、職員一同、気持ちを新たにし、日々の業務に取り組んでおります。

平成28年に始まった、上田市本庁舎の建設工事は有に8年の歳月を要し、本日、グランドオープン運びとなりました。これまでの上田市政において、大変な大事業でありました。

本庁舎と南庁舎は、国のサステナブル建築物等先導事業の採択を受け、自然エネルギーの活用と先導的な温室効果ガス排出削減技術を取り入れて整備し、令和3年4月には本庁舎が、令和4年5月には南庁舎がそれぞれ竣工となりました。

令和4年7月からは庁舎正面の駐車場の整備に取りかかり、令和5年3月27日に供用開始となりました。

この度、市役所の整備にあたり、近隣の皆様のほか事業者各位におかれましては、本庁舎建設や南庁舎の改修、旧庁舎の解体、駐車場整備に対して御協力、御尽力をいただきましたこと、深く感謝を申し上げる次第でございます。

最後に、この庁舎は、上田城や城下町の景観に配慮した重厚的で、随所に地元産の木材が使用された温もりのあるデザインとなっております。

職員全員がこの庁舎で執務することに喜びと誇りを感じ、優しさと思いやりのある市民サービスの提供と効率的で質の高い行政運営ができるよう、また、市民の皆様が親しまれ、誰もが利用しやすい庁舎となるよう努めて参ります。

寄贈樹木

市庁舎の改修・改修事業に際し、上田市上田地域消費者の会様から、ハナミズキ1本、トサミズキ4本、ソヨゴ5本、アオダモ4本、タマリヨウ44株/mをご寄贈いただきました。

上田市上田地域消費者の会様からは、旧庁舎の時代にもメグスリの木やシナノ木をご寄贈いただいており、その樹木は今回の改修・改築に合わせて、本庁舎横のポケットパークに移植をさせていただきました。

市役所を訪れる多くの市民の皆様へ憩いと潤いを与えてくれるよう大切に育てて参ります。



エコ平板

駐車場南奥に位置しているのは、エコ平板という建設現場から出る瓦やレンガ、陶器、自然石などを細かく砕き、色鮮やかに仕上げたモザイクアートです。

上田城跡や信濃国分寺、上田獅子、千曲川などの上田市の歴史、文化、自然が温かく表現されています。

所々にちりばめられている花々のうち、ヒマワリについては、ウクライナの方が作ったものです。



市庁舎の特色

1 省エネルギー・環境への配慮

- 省エネ性能の高い水冷媒天井放射空調と床放射空調を採用。
- 全熱交換器とCO₂濃度による外気導入量制御で外気負荷を低減。
- 照明方式はタスクアンビエント照明方式を採用することで、CO₂を36%削減し、省エネ性と快適性を両立した光環境を確立。
- 更衣室、トイレ、給湯室等は人感センサーにて制御を行い、省エネルギー化を図る。
- 竣工時には太陽光パネル70kW設置し、ZEB Readyを図り、その後Nearly ZEBを目指すために、さらに増設可能なスペースを確保。
- BEMS装置を設置し、庁舎全体の使用エネルギーを見える化し、エネルギーの最適化、省エネルギー化の推進を支援。

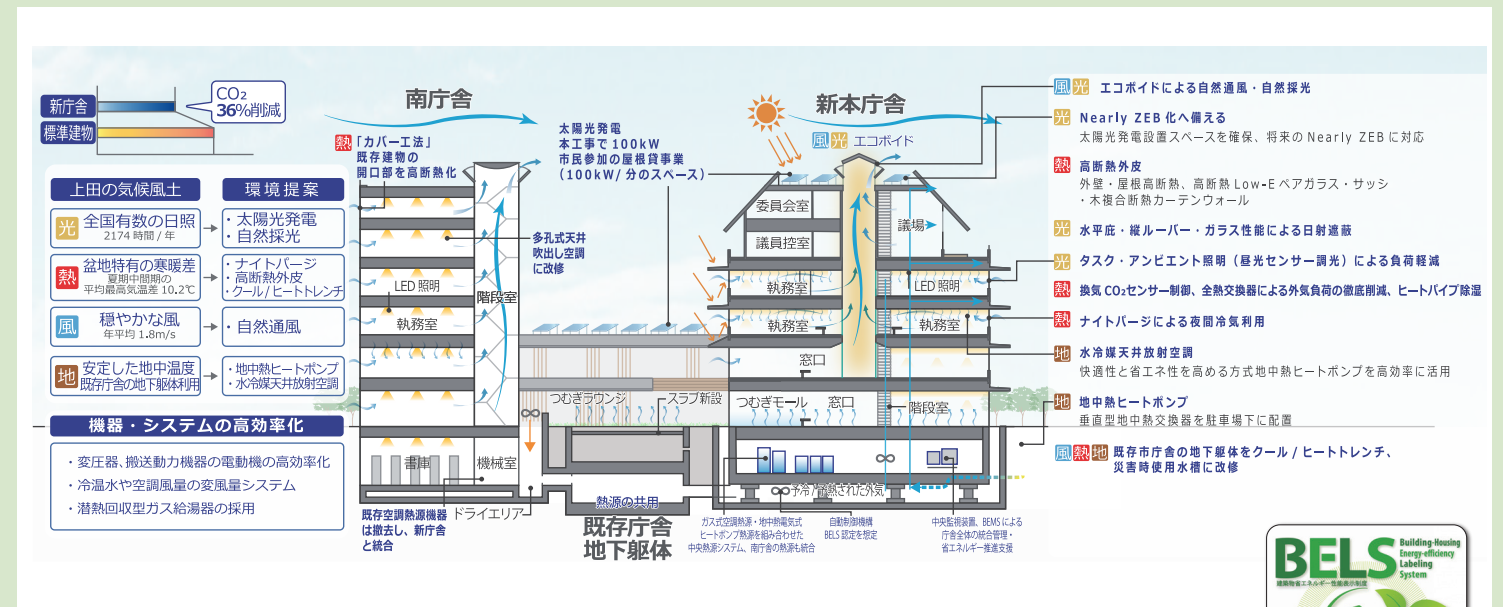
2 執務環境や利用者配慮した設備計画

- 執務室、待合スペース、議場は快適性の高い水冷媒天井放射空調方式や床放射空調を確保。
- 多目的トイレ、女性トイレ、授乳室に緊急呼出システムの設備、視覚障がい者等への配慮対応として、情報案内システムを設置。
- 議場内傍聴席は磁気ループを設けることで補聴器の機能をサポートする。
- 障がい者、子供、高齢者に使いやすい器具を採用。

3 防災機能に配慮した計画

- 大地震でも免震装置が揺れを吸収し、建物に伝わる揺れを減らすことにより倒壊や損傷を防ぐ免震構造（球面すべり支承）を採用。
- 災害時には排水経路を切り替えることにより排水貯留槽に汚水を貯留。
- 蓄電池+太陽光発電による夜間・非常時の屋外照明への電源供給。
- 2回線引き込み（異変電）や非常用発電機を設けることで電源の多重化を行い、電源確保に重点を置いたシステムを構築。
- 非常用発電機は72時間対応の容量を確保。
- 災害時対応個別運転が必要な室は電気式ヒートポンプエアコンを設置。

上田の気候風土を活かすサステナブルデザイン



BELS (ベルス) とは、建築物省エネルギー性能表示制度のことで、国土交通省が主導する建築物の省エネルギー性能に特化した第三者機関による認証制度のことです。上田市本庁舎及び南庁舎は建築物省エネルギー性能表示制度 (BELS) による4つ星の評価 (一次エネルギー削減量 39%) を受けており、BELS 表示プレートを本庁舎1階総合案内に設置しております。

